

研 修 報 告 書

(秋田県社会福祉士会)

研 修 名	北東北合同部会 (第9回小さな勉強会 in 弘前)
日 時	平成30年10月27日(土) 14:00~16:30
会 場	弘前医療福祉大学 短期大学部 大講義室(弘前市)
参加者数	17名(内訳:秋田県→5名、岩手県→2名、青森県→10名)
内 容	<p>【目 的】 ニュージーランドの高齢者施策を学んだ社会福祉士からの報告を通じて、“自分にもできる”社会福祉士としての実践とは何かを考えるとともに、夢に向かって挑戦する若手社会福祉士の魅力について迫っていく。</p> <p>【内 容】 テーマ：チャレンジ the 社会福祉士～若手社会福祉士の新たな挑戦～ ① 日本社会福祉士会全国大会(山口大会)報告・次回大会アナウンス ② 各県青年部会活動報告 ③ 話題提供「ニュージーランドにおける高齢者施策 ～高齢者支援ネットワークとソーシャルワーカーの役割～」 話題提供者：青森県社会福祉士会 相馬 崇治 氏 ④ グループワーク「自分にでもできる社会福祉士としての挑戦とは？」</p> <p>【報 告】 本研修では各県の社会福祉の取り組みや今現在問題となっていることを情報共有することで、ソーシャルアクションに対するモチベーションの向上に繋げることが出来た。またニュージーランドにおける高齢者施策という普段なかなか触れる機会がない話題についても興味深く学ぶことが出来た。ニュージーランドでも高齢化率の問題が深刻化しているなど、日本の情勢と共通する部分もある一方でソーシャルワーカーの価値観の1つに「クライアントの宗教を大事にする」という特徴があるなど、その地域によって価値観が異なることも学んだ。 本研修を通じて「問題を問題のままにせず解決に向かっていくようなソーシャルワーカーになりたい」と改めて感じた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
所 管	青年部会「わかか」